



平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 広栄化学工業株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 4367 URL <http://www.koeichem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大庭成弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室長 (氏名) 宮下和彦 TEL (03)6667-8281
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日 配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,944	26.1	189	-	311	-	182	-
21年3月期第1四半期	5,338	-	348	-	386	-	235	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.47	-
21年3月期第1四半期	9.61	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	21,627	12,226	56.4	498.73
21年3月期	22,097	12,546	56.6	511.28

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 12,206百万円 21年3月期 12,513百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	-	0.00	-	9.00	9.00
22年3月期	-				
22年3月期(予想)		0.00	-	9.00	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	9,200	(24.9)	300	(71.0)	50	(95.0)	80	(-)	3.27	
通 期	22,500	(4.6)	1,450	(6.3)	1,150	(1.5)	450	(24.1)	18.38	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4)発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	24,500,000 株	21年3月期	24,500,000 株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	25,247 株	21年3月期	25,247 株
期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第1四半期	24,474,753 株	21年3月期第1四半期	24,476,785 株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1．連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間のわが国経済は、輸出の下げ止まりや在庫調整の一巡による生産の増加などから、緩やかな回復の兆しが見られました。しかし、企業収益の悪化を背景に設備投資は大幅に減少し、また個人消費も低迷するなど、限定的で緩やかな景気回復ペースとなりました。

このような情勢のもとで、当社グループは、原燃料価格の変動に対応した売価是正に努め、付加価値の高い新製品の研究開発に注力するとともに、既存品の販売戦略の見直し・販売力の強化を推進するなど、全社を挙げて収益の確保に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第 1 四半期連結会計期間の売上高は 39 億 4 千 4 百万円（前年同四半期比 13 億 9 千 3 百万円減）となり、営業損益は 1 億 8 千 9 百万円の損失（前年同四半期は 3 億 4 千 8 百万円の利益）、経常損益は 3 億 1 千 1 百万円の損失（前年同四半期は 3 億 8 千 6 百万円の利益）、四半期純損益は 1 億 8 千 2 百万円の損失（前年同四半期は 2 億 3 千 5 百万円の利益）となりました。

2．連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、受取手形及び売掛金、商品及び製品などの減少により、前連結会計年度末に比べ 17 億 9 百万円減少し 98 億 3 千 5 百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて 12 億 4 千万円増加し 117 億 9 千 2 百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ 4 億 6 千 9 百万円減少し 216 億 2 千 7 百万円となりました。

（負債）

流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金などの減少により、前連結会計年度末に比べて 6 億 2 千 3 百万円減少し 69 億円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて 4 億 7 千 4 百万円増加し 25 億円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ 1 億 4 千 9 百万円減少し 94 億 1 百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べて 3 億 2 千万円減少し 122 億 2 千 6 百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の 56.6%から 56.4%となりました。

3．連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績の見通しは、平成 21 年 5 月 11 日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

4．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1．棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行なう方法によっております。

2．原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異等については、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

3．税金費用の計算

当連結会計期間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	491	368
受取手形及び売掛金	3,763	5,431
商品及び製品	3,206	3,646
仕掛品	1,137	1,203
原材料及び貯蔵品	734	660
その他	515	258
貸倒引当金	13	23
流動資産合計	9,835	11,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,794	2,850
機械装置及び運搬具（純額）	3,929	4,094
建設仮勘定	2,552	1,144
その他（純額）	389	413
有形固定資産合計	9,666	8,503
無形固定資産	71	79
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,062	1,976
貸倒引当金	7	7
投資その他の資産合計	2,054	1,968
固定資産合計	11,792	10,551
資産合計	21,627	22,097
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,817	4,297
短期借入金	1,875	2,040
未払法人税等	-	75
引当金	6	139
その他	2,201	972
流動負債合計	6,900	7,524
固定負債		
長期借入金	534	-
退職給付引当金	1,634	1,678
その他	332	347
固定負債合計	2,500	2,026
負債合計	9,401	9,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	7,698	8,101
自己株式	8	8
株主資本合計	11,583	11,987
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	622	526
評価・換算差額等合計	622	526
少数株主持分	19	32
純資産合計	12,226	12,546
負債純資産合計	21,627	22,097

(2)【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,338	3,944
売上原価	4,148	3,308
売上総利益	1,189	636
販売費及び一般管理費		
発送費	128	115
給料手当及び賞与	182	198
退職給付費用	12	13
役員退職慰労引当金繰入額	14	-
賃借料	34	32
試験研究費	243	235
その他	224	230
販売費及び一般管理費合計	841	826
営業利益又は営業損失()	348	189
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	23
受取補償金	25	3
雑収入	15	13
営業外収益合計	60	40
営業外費用		
支払利息	4	6
製造休止損失	-	126
固定資産除却損	14	17
為替差損	-	10
雑損失	4	1
営業外費用合計	22	161
経常利益又は経常損失()	386	311
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失()	386	311
法人税等	148	115
少数株主利益又は少数株主損失()	3	13
四半期純利益又は四半期純損失()	235	182

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失()	386	311
減価償却費	284	280
有形固定資産除却損	6	16
貸倒引当金の増減額(は減少)	2	10
退職給付引当金の増減額(は減少)	51	44
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	102	-
賞与引当金の増減額(は減少)	137	132
役員賞与引当金の増減額(は減少)	15	-
受取利息及び受取配当金	19	23
支払利息	4	6
売上債権の増減額(は増加)	969	1,667
たな卸資産の増減額(は増加)	156	432
仕入債務の増減額(は減少)	472	1,480
未払消費税等の増減額(は減少)	60	3
その他	202	441
小計	430	839
利息及び配当金の受取額	20	23
利息の支払額	5	4
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	498	42
営業活動によるキャッシュ・フロー	53	816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	665	853
無形固定資産の取得による支出	2	1
貸付金の回収による収入	21	3
その他	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	643	848
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	586	100
長期借入れによる収入	-	600
長期借入金の返済による支出	134	130
自己株式の取得による支出	0	-
配当金の支払額	220	220
財務活動によるキャッシュ・フロー	232	149
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	5
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	455	123
現金及び現金同等物の期首残高	841	368
現金及び現金同等物の四半期末残高	385	491

（4）継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）
該当事項はありません。